

震災遺構対象施設 個票

施設名	旧女川交番
所在市町	女川町
規模・構造	昭和55年に建設，鉄筋コンクリート造2階建て
所有者	施設所有者： 県（県警） 土地所有者： 県（県警）
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・女川町を襲った津波の最大波は14.8m（港湾空港技術研究所調査）。 ・女川交番に勤務していた2人の警察官は，大津波警報発令後，パトカーから避難を呼びかけるとともに，逃げ遅れた町民を乗せて高台を目指していたため難を逃れた。 ・当施設での直接的な犠牲者は出ていない。 ・交番は，津波の引き波により，元の位置付近で横倒しになった。建物上部に漂流物による損傷等が残るほか，基礎部分の杭が引きぬかれているところを見ることができる。 ・現在，満潮時には30cm程度浸水。 ・県警察の施設では，2つの警察署と25の交番及び駐在所等の施設が津波による流失，損壊等の被害を受けたが，ほとんどが解体撤去あるいは修繕により継続使用されており，被災後の状態のまま残っているのは当施設のみ。
検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・女川交番のある区域は，観光交流エリアとして造成されることが予定されており，嵩上げ工事は平成29年頃となる見込みである。時間的な余裕もあり，まちづくりへの支障は少ない。 ・町では，現地保存する方向で既に具体的な検討に入っている。 ・県警では，女川交番の保存について，町からの具体的な相談等に対応していく考えであるとのこと。
地元の意向	・保存に対する反対意見なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町では，現地保存と3Dデータの活用の両方について検討する予定。 ・県警察では，避難広報や避難誘導中の警察官14名が津波の犠牲となったことを受け，警察官自身の安全を確保しつつ，効果的な避難誘導活動を行うための行動ルールを定めた津波避難誘導マニュアルを策定，実践的な訓練を行っている。





震災遺構対象施設 個票

施設名	JR仙石線 野蒜駅プラットフォーム
所在市町	東松島市
規模・構造	鉄筋コンクリート 駅舎2階建て
所有者	施設所有者：市，JR東日本(株) 土地所有者：市，JR東日本(株)
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅舎の1階部分が浸水。 ・ 被災時は数人の利用客がいたが，駅員の誘導で，駅舎の2階から屋上へ避難した。 ・ 米軍が「トモダチ作戦」の一環として，自衛隊と共同で野蒜駅のがれき撤去作業を行った。
検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラットフォームは，被災の痕跡を残したままの状態での保存。 ・ 旧駅舎は，市が観光交流拠点「野蒜地域交流センター」として整備。 ・ 5月29日に1階部分のコンビニエンスストアがオープン。 ・ 2階は多目的スペースとして整備し，6月に完成。 ・ 1階には交流・憩いのスペースが設けられ，被災状況を伝える写真が展示されている。 ・ 建物の外壁には，津波の高さが表示されている。
地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民から，震災遺構としての保存・活用を要望されている。
その他	





震災遺構対象施設 個票

施設名	かんぼの宿松島及びその付帯施設
所在市町	東松島市
規模・構造	鉄筋コンクリート造4階建て
所有者	施設所有者：日本郵政(株) 土地所有者：日本郵政(株)
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・津波が2階まで浸水。 ・利用客や地域住民132人が4階に避難し、翌日、自衛隊のヘリコプターにより全員が救出された。 ・現在は休業している。
検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・市と日本郵政との間で、市への譲渡について協議している。 ・市では、民間事業者に貸与し、宿泊施設兼震災メモリアル施設、避難ビルとしての活用を検討。 ・敷地内の一部施設を、被災時のまま保存することを検討している。 ・隣接していたアネックススポーツランド（鉄筋コンクリート1階建て）はかんぼの宿松島が運営しており、津波により全壊した。 ・本体部分は宿泊施設等として活用するが、被災当時の写真を展示し、遠方からの宿泊者にも震災の経験や教訓を伝えていくことを考えている。また、当時の避難の状況を踏まえ、避難の重要性についても伝えていく考え。
地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民から、震災遺構としての保存・活用を要望されている。
その他	



遠景



正面



職員宿泊施設



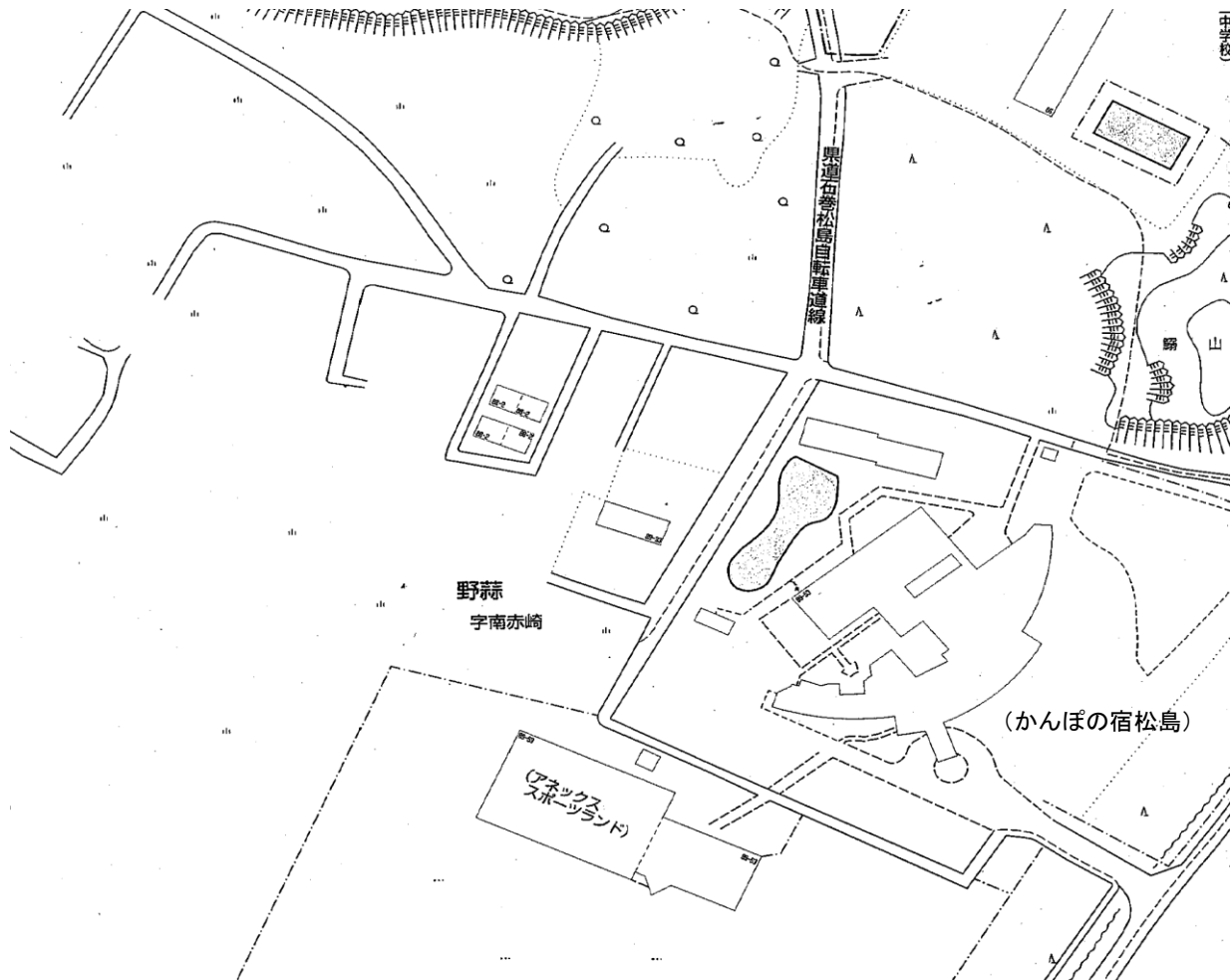
後側



アネックススポーツランド



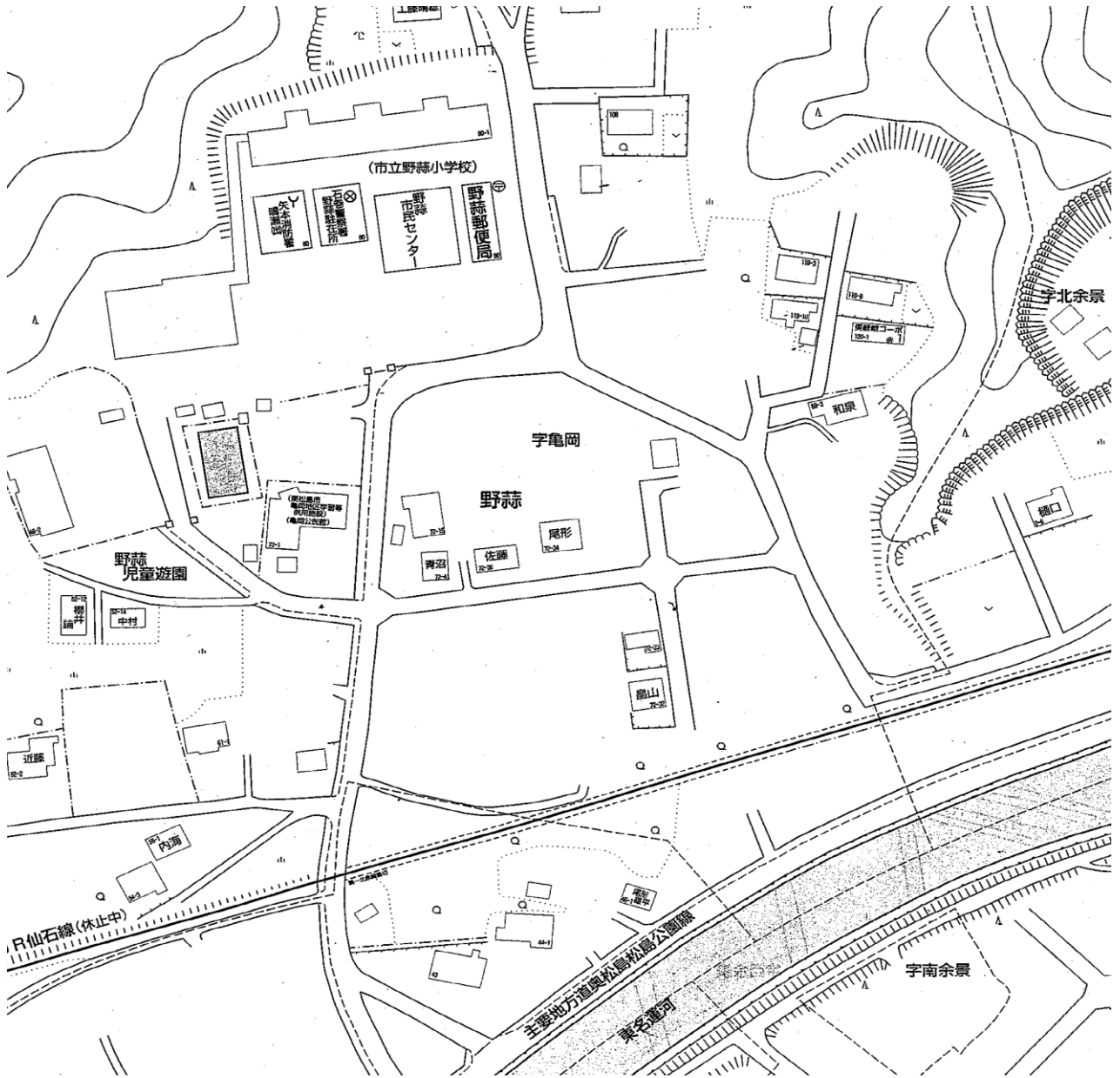
スポーツランド内部



震災遺構対象施設 個票

施設名	野蒜小学校
所在市町	東松島市
規模・構造	鉄筋コンクリート3階建て
所有者	施設所有者：東松島市 土地所有者：東松島市
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2. 9mの津波で校舎の1階部分が浸水。 ・ 児童約70人を含む300人以上が体育館に避難。1階部分が津波に襲われ、十数人が犠牲となった（児童の犠牲者はなし）。 ・ その後避難所を校舎とし、直接避難してきた人も含め、約450人の避難者を受け入れた。 ・ 校内での児童の犠牲者はなかったが、9人の児童が、下校中または下校後に津波に襲われ死亡した。 ・ 体育館は遺体安置所となった。
検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波で破壊された教室や当時のままの黒板、止まった時計などをそのまま残す方向で検討。 ・ 被災状況の写真や避難状況を伝える展示も行う予定。 ・ 住民の避難場所にもなることから、避難の重要性など震災の経験や教訓を伝えていく。 ・ 津波浸水の高さを表示することも考えている。 ・ 体育館は解体済み。
地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民から、震災遺構としての保存・活用を要望されている。
その他	





震災遺構対象施設 個票

施設名	浜市小学校
所在市町	東松島市
規模・構造	鉄筋コンクリート2階建て（一部3階）
所有者	施設所有者：東松島市 土地所有者：東松島市
被災状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・津波で校舎の1階を越える高さまで浸水。 ・児童167人，教職員14人，出入り業者2人が校舎内にいた。 ・大津波警報発令を知り体育館や校庭への避難は危険と判断し，校舎3階の音楽室等に避難して全員無事。（校舎は前年に耐震補強工事済み） ・近隣からの避難者を含め，合計405人が避難した。
検討状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・津波で破壊された教室などをそのまま残す方向で検討している。 ・被災状況の写真や避難状況を伝える展示も行う予定。 ・住民の避難場所にもなることから，避難の重要性など震災の経験や教訓を伝えていく。
地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民から，震災遺構としての保存・活用を要望されている。
その他	



